

2025年度:実施プロジェクト一覧

以下の3つのテーマから、学内で取り組みを募集し、下記の6つのグループが取り組みを実施しました。

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

ーグループ① 二代目森とゆかいな仲間たち

ーグループ② ビケット

II 【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

ーグループ① 学生消防サークル長野大学分団

ーグループ② Peace Edu.

ーグループ③ ボランティア情報センター

III 【地域企業課題解決型】上田地域企業魅力発信プロジェクト

ーグループ① UEDAハンドシェイク

※ファイル内の情報は、2025年度現在です

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

【プロジェクト概要】

美ヶ原高原の道の駅は、標高2,000mに位置し、日本で最も高い場所にある道の駅です。360度のパノラマが広がる展望テラスからは、北アルプスをはじめとする雄大な山々を望むことができます。

一方、高地にあるため営業期間が限られていること、多方面からのアクセスがしにくいなど、高原の道の駅ならではの課題もあります。

道の駅の多機能化が進む昨今、地方創生の拠点としての役割が期待されています。

道の駅「美ヶ原高原」運営会社である[株式会社フジランド](#)様と協働して、地域資源を活用した道の駅「美ヶ原高原」の活性化につながる企画を学生たちが考案します。

協働先：[株式会社フジランド](#)様

- [グループ①二代目 森とゆかいな仲間たち](#)
- [グループ②ビケット](#)

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

グループ①二代目 森とゆかいな仲間たち

標高約2,000m！日本一高い「道の駅」で「むだ」を取り入れ、
心の豊かさを



道の駅「美ヶ原高原」視察

2024度からフジランド様と協働して取り組みを進めています。

タスクに追われる現代人に、美ヶ原高原での滞在で「むだ」を適度に取り入れてもらうことによって、心の豊かさを得てもらうこと。また、そんな美ヶ原高原を道の駅美ヶ原高原を中心に、魅力あふれる拠点として構築していくことを目標として、2024年度に7つの事業展開を提案しました。

([7つの施策](#)・・・Veil:購買の場、Atta!!:探し物ラリー、A tempo:パーソナルスペースの設置など。

施策は今後調整していく中で、変更になる場合があります)

2026年度は「二代目森とゆかいな仲間たち」が、道の駅「美ヶ原高原」の魅力と「顧客の思い」の双方にフィットする形で、新たな価値を創出する提案を模索してきました。

- Veil(購買の場):7月に道の駅売店内にオープン
- A tempo(パーソナルスペース):8月～10月中旬、車中泊ができる有料駐車場として実証実験を実施
- 「歩く絵本」(仮称):館内を歩きながら絵本を読み進めるような感覚で物語の展開を追体験できる仕掛けを提案
- 「Dotti??」(仮称):美術館を巡りながら自分の感性で選択を重ねていく体験型プログラムを提案
- 「アートに導かれるおみくじ」最終提案パネルで提示される作品からひとつを選びながら美術館を巡る、Veilと連動

11月から、イラストレーターのキン・シオタニ氏とコラボし、より創造的な提案を展開しました。

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

グループ②ビケット

道の駅「美ヶ原高原」におけるバイカー誘客

道の駅「美ヶ原高原」は、ビーナスラインの終着点であり、ワインディングロードを楽しめるほか、日本で最も標高が高い道の駅として知られています。これらの要素は、バイクツーリストにとって大きな魅力となっています。



道の駅「美ヶ原高原」フотスポット看板前

そのため、バイクを活用した新たな魅力の創出や誘客の可能性が高い場所と考えられます。本活動では、道の駅「美ヶ原高原」を訪れるバイクツーリストの実態や目的を明らかにし、バイクを活用した観光誘致を推進することを目的としています。さらに、日本国内で未解明のバイクツーリズムの実態についても、この場所を通じて明らかにすることを目指しました。

- 道の駅「美ヶ原高原」に来訪にするバイクツーリストの実態や目的を明らかにするためのアンケート調査実施
⇒調査票を用いた聴き取り調査（来訪者プロフィール・意識調査）
- バイカーに向けた、道の駅「美ヶ原高原」の魅力を[PRするポスター](#)を制作しました。
⇒A4・A2サイズ2種（道の駅美ヶ原高原の魅力発信・販売グッズ宣伝）
- バイカーのためのフотスポットのデザイン提案（バイカーが愛車とともに撮影できる看板）
⇒2026年5月12日に[公開](#)しました。

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

【プロジェクト概要】

上田市の地域活性化(産業や地域文化の振興を含む)および地域企業への貢献を目指したプロジェクトを計画し、学生たちの自由なアイデアや発想を生かし、協働先とともに地域や企業が抱える課題の解決に寄与することを目指します。

➤ グループ①学生消防サークル長野大学分団

協働先：上田市消防団様

➤ グループ②Peace Edu.

協働先：上田西高等学校ECC国際平和チーム様、
上田市遺族会・遊佐准尉慰霊の会の皆様

➤ グループ③長野大学ボランティア情報センター

協働先：社会福祉法人長野県社会福祉協議会様

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ①学生消防サークル長野大学分団

学生消防団の認知度向上と防火活動の推進

近年、消防団員の確保が深刻な課題となっており、特に若年層の団員が減少していることが、その要因の一つとされています。

2024度、大学登録サークルとして設立された本サークルは、長野大学生の消防団員人口の増加を目的として活動してきました。



学生消防サークル

20244度は新たな部員も加わり、消防団への入団につながる[取り組み](#)をさらに進めました。

消防団の認知度を高めるとともに、学生消防団の魅力を広く伝え、入団者の増加を目指しました。

- 川西地区で防災講座を実施(地域住民の防災意識を向上)
- 学内防災避難訓練で[啓発研修](#)を実施(避難誘導、避難時の心構え、[非常時持ち出しグッズ紹介](#)消火器の使い方)
- サークルちらし、クリアファイル、風呂敷作成
- 長野大学りんどう祭でブースを出展
- 東雲祭で、信州大学消防団関係者とブースを出展
- 名古屋市学生消防団とオンライン交流会実施
- 上田FM開局準備室(ラジオ放送)出演:啓発や最近の防災に関する出来事を放送

2025年度は、新入部員を加え、5人で活動しました(うち4人が上田市消防団に所属)

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ②Peace Edu.

戦後80年、疎開調査のさらなる深化と平和への取り組み

2022年度から続く取り組みです。

山浦ゼミの学生による活動を出発点とし、2023度、その活動を引き継ぐかたちで、有志が集まり活動グループ「Peace Edu.」を新たに立ち上げました。



遊佐准尉慰霊会にて活動報告

戦争体験者の高齢化が進み、直接お話を聞くことが困難となってきた現在、喫緊に取り組む必要のある課題と言えます。

戦後80年を迎える今年は、地元の高校生([上田西高校](#)ECC国際平和チーム)や関係機関と連携し、平和な社会の構築につながる[活動](#)を実践してきました。

- 上田西高校ECC国際平和チームと合同で、上田市内戦跡のフィールドワークを実施
- 坂城町講座にて、平和について考える特別授業を実施
- 遊佐准尉慰霊の会に参加し、西高と長野大学の学生が記憶の継承をテーマにこれまでの活動を報告
- 上田市戦没者追悼式にて、「平和へのメッセージ」をスピーチ
- 成果物「[若者たちへの伝言2025](#)」発行
- 成果物を活用し、第六中学校で「語り継ぐ活動」として特別授業を行いました。

若者への記憶の継承をテーマに、学生6人が、上田西高校と高大連携で活動しました。

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ②長野大学ボランティア情報センター

「大学生を対象としたボランティア意識の醸成」

～助け合いを学んで福祉のイメージをアップデートしよう～

長野本学のボランティアセンターは、コロナ禍による活動休止期間を経て、2023年度よりボランティア情報センターとして活動を再開しました。

2025年度は、7名のボランティアコーディネーターが中心となり、地域のボランティアと学生をつなぐ役割を担っています。

本プロジェクトでは、大学生のボランティア意識を醸成することを目的に、ボランティア体験会や研修会を実施し、これらの取り組みにより、ボランティアへの関心を高めるとともに、福祉に対するイメージをアップデートし、いざという時の助け合いや最初の一步を踏み出すきっかけにつなげます。

- 正面玄関にて、ボランティア意識調査アンケートを実施
- 研修会全3回を開催(協力: [長野県社協様](#))
([第1弾「知る」](#):8月7日、[第2弾「考える」](#):11月17日、[第3弾「繋がる」](#):12月17日)
⇒研修会の終わりに参加者のボランティア意識の変化などを把握するアンケート調査を実施
- ボランティア体験会開催(イベントボランティアに参加)
- ボランティアマップの作成
- ノベルティのフェイスタオル制作(研修会参加者に配布)



ボランティア研修会(第1弾)

福祉への関心やボランティアに繋がる行動の一步を踏み出すきっかけづくりを目指しました

Ⅲ【地域企業課題解決型】上田地域企業魅力発信プロジェクト

【プロジェクト概要】

上田地域内の就職率向上は、喫緊の課題となっています。多くの企業が、学卒人材の確保をはじめ、若年者の雇用や人材定着に関する課題を抱えています。

「上田地域企業魅力発信プロジェクト」では、学生たちの自由なアイデアや視点を活かし、上田地域の企業の魅力をパンフレットや動画などのコンテンツとして制作・発信します。

この取り組みにより、一人でも多くの学生が上田地域の企業に関心を持ち、地域での就職につながることを目指します。

協働先：[上田プラスチック株式会社](#)様、[信州ハム株式会社](#)様

➤ [グループ①UEDAハンドシェイク2025](#)

Ⅲ【地域企業課題解決型】上田地域企業魅力発信プロジェクト

グループ①UEDAハンドシェイク2025

地域企業をもっと知ろう！SNS動画で魅力を発信

長野大学には県外出身の学生も多く、地域企業について知る機会が限られているのが現状です。

そこで、学生が企業を知り、自らの視点でその魅力を発信することは、就職活動においても有意義な取り組みと言えます。



UEDAハンドシェイク2025メンバー

地域企業を広く周知する手段として、SNS動画を活用し、その魅力を発信しました。

SNSを活用することで、若い世代にも地域企業の情報が広がり、認知度の向上が期待されます。

今年度は、[上田プラスチック株式会社](#)様、[信州ハム株式会社](#)様の2社を取材先として選定しました。

- 会社見学会：信州ハム株式会社様([10月14日](#))、上田プラスチック株式会社様([11月19日](#))
- 上田プラスチック株式会社：[動画](#)2本
- 信州ハム株式会社：[動画](#)2本、デジタルコンテンツ「[軽井沢コースハムができるまで](#)」
- Instagramアカウント：[ueda handshake2025](#)

地域企業に関心のある学生たちが企業を取材、学生目線でコンテンツを制作しました。